

報告者:望月（就労支援室）

## 令和4年度 第2回台東区障害者地域自立支援協議会（就労部会）報告

### 1 開催日

6/15、7/20、8/17、9/21（リモート開催）

### 2 検討した内容

#### （1）高齢化について検討

一般就労と福祉サービスの併用についての課題や他区の動向などを話し合っている。今後は、より具体的な課題の抽出や仮想事例などを作成出来ればと考えている。

#### （2）企業情報発信について

区内の就労継続事業所や移行支援事業所向けに、障害者求人を行っている企業の情報を分かりやすく発信したいと考えている。

- ・利用者に障害者雇用について知ってもらう事が狙いのため、実際に障害者雇用を行っている企業を選定する。
- ・利用者の方が求人票を見ても、実際の雰囲気がかみづらいケースがあるため、仕事を行っている様子の写真や先輩社員のインタビューなどを盛り込む。
- ・複数の職種をピックアップして、様々な仕事がある事を知ってもらう。

現在、上記の内容を踏まえてフォーマットを作成している。フォーマット完成後に企業の選定や必要に応じてインタビューを行い進めて行く予定。

#### （3）企業見学について

企業情報と共に一般就労について知ってもらう事を目的として、障害者雇用をしている企業に見学会を実施出来るように検討して行く。

現在は、見学できる企業と時期や時間などの調整を行っている。今回は、仕事場の大きさやコロナウィルス感染予防の観点から、少人数での見学を考えている。

#### （4）勉強会

6月 就労支援室の取り組みについて（台東区障害者就労支援室）

- ・就労支援室の定着支援の方法や就労トレーニングの活用、ネットワーク事業の説明などを行った。

7月 就労継続支援B型事業の現状と課題（HOPE）

《現状について》

- ・利用者の多くが週2、3日の契約になっている。
- ・工賃が1時間350円お支払いをしているため、単価の低い作業を受注出来ない。
- ・欠勤、遅刻早退が多く、作業を多めに受注出来ず、工賃の維持に苦労している。
- ・似たような作業が多いため、多様な作業を用意したいと考えている。
- ・納期が短く、締めが重なり、新たな受注が難しい。利用者の作業時間、作業日数を増やすために、他の事業所はどういったアプローチをしているのか教えてもらいたい。就労B型で作業を安定させる方法があれば教えて欲しい。

#### 《部会員からの意見》

- ・利用者の多くが、生活リズムが不規則になっている。規則正しい生活が出来るように意識している。朝、電話をかけ、起こす場合もある。
- ・昨年度までは、信頼を得るため多少の無理をしてでも受注していたが、現在は、作業量を減らし、当事業所の状況を整える事に重きをおいている。また、同じ作業にならないように配慮している事、短納期については無理なものは無理と業者に伝えている。
- ・受注だけでは安定しない収入なので、自主製品を土台に出来るように考えてみてはどうだろうか。

#### 8月 事例検討 (ありがとう)

20代前半 障害名:知的障害(職業重度判定あり) 広汎性発達障害

- ・学区内の特別支援学校へ入学。就労継続支援A型事業所や弁当業者の軽作業、大浴場の清掃などの職場実習に参加。人の声や蒸気などに不快感や気が散るなどあり、母親が就労には早いと判断し、移行支援事業所へ通所となる。
- ・通所開始から半年後に農園実習を行う。その後、農園実習を4回目まで行ったところから問題行動や課題が出て来る。1年の延長をし、こだわりを抑える訓練やさらに4回の農園実習を経て就職する事となった。
- ・就職後は周囲からも信頼され、毎日楽しく通っている。

#### 《課題》

- ・定着支援事業終了後の企業と保護者間との対応方法

現時点では問題ないが、支援員が撤退したあと何かあった場合どうするのか

- ・保護者も高齢になってきていて、もしものことがあった場合、どのように生活や就労を維持していくのか
- ・職業重度判定が出ている知的障害者の雇用継続をする難しさ

#### 《意見》

- ・HWでは農園での就職というのに、注目している。様々な困難な事例でも雇用に結びつくことがある。
- ・定着支援機関が3年で終了するため、その後は地域のセンターへ引き継ぐ事になるが、なるべく企業に障害者雇用を理解してもらい企業が支援出来るように力をつけてもらうようにアドバイスして行ければ良いと思う。
- ・両親の亡き後を考慮して、ショートステイの利用を勧めてみてはどうか。いきなり、GHへの入居は困難である。

#### 9月 障害者雇用について (ハローワーク)

近年の就職状況や障害種別の動向などの説明

- ・都内の雇用義務のある企業の増加。在職者も3障害共に増加。
- ・コロナ禍も法定雇用率の改定などもあり、雇用企業数は増加。
- ・就職数の推移で、知的障害者は少子化の影響を受けてか減少の一途を辿っている。

#### (5) 講演会

実施日 10月5日 15:00~16:00

テーマ 親なきあとに続く愛を（プルデンシャル生命による生命保険信託について）

##### 《感想》

- ・親が亡くなった後、お金の管理を想像すると遺産相続などの問題も出て来るため、信託生命保険は手数料があるが、必要だと感じた。
- ・利用者だけでなく家族とも関わるので、情報を持っておく事は重要だと思った。
- ・情報を早めに提供していく事は大切。何も知らないよりは、メリットデメリットも伝えながら、情報発信していく事は必要であると感じた。

#### 3 今後のスケジュール

- ・高齢化について、仮想事例を検討
- ・見学会の実施及び企業情報の発信